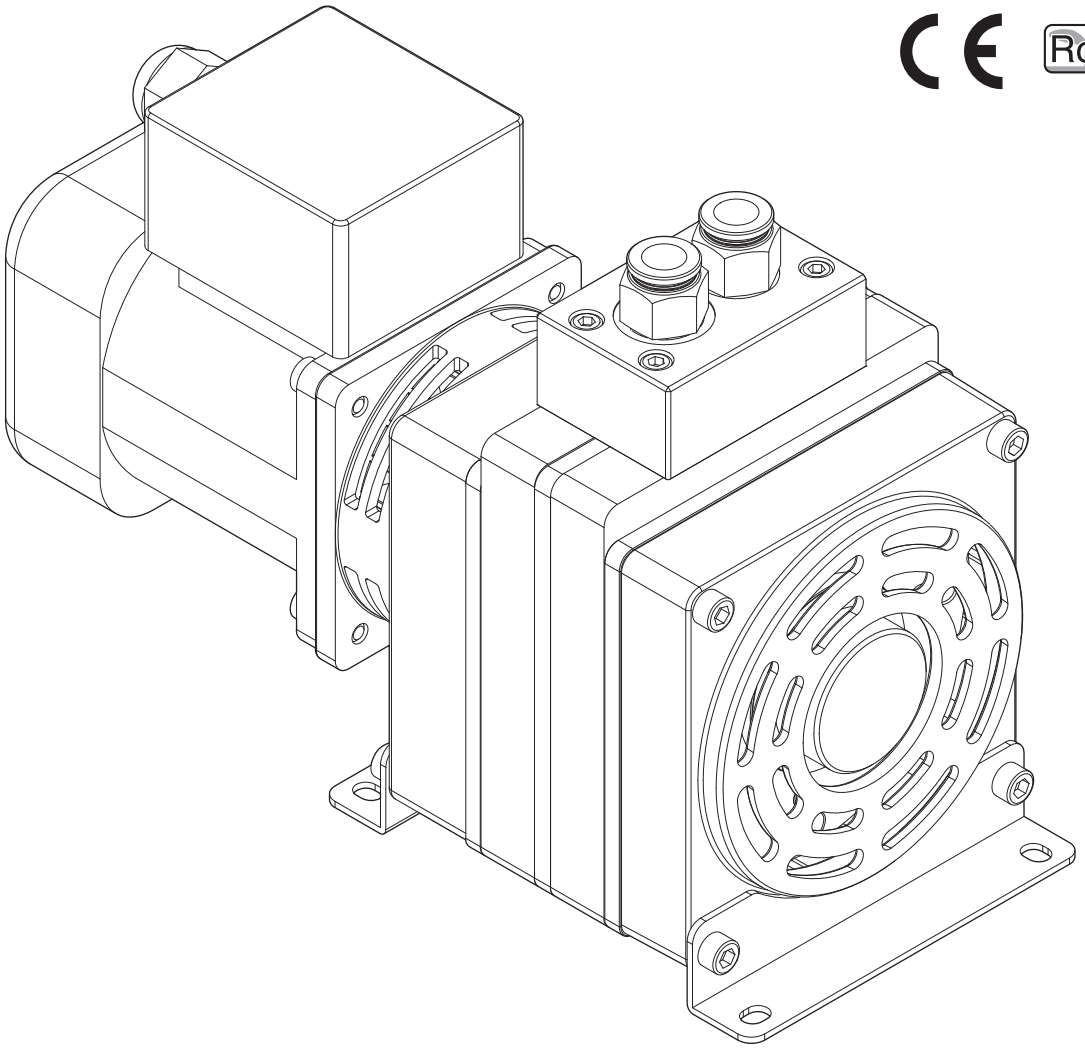
ロータリ真空ポンプ RPV06シリーズ

取扱説明書

CE RoHS対応



お願い

安全にお使いいただくため、ご使用前に本取扱説明書を必ずお読みください。

PISCO®

製造元／株式会社日本ピスコ

□本 社 工 場／長野県岡谷市出早長地3-9-32　〒394-0089
Tel. 0266-28-6072㈹　Fax. 0266-28-7349

販売元／株式会社ピスコ販売

□本社・営業部／長野県上伊那郡南箕輪村3884-1　〒399-4586
Tel. 0265-76-2511㈹　Fax. 0265-76-2851

URL➲http://www.pisco.co.jp

はじめに

この度は、ピスコ製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品をお客様に安心してお使いいただくために、本取扱説明書及びモータの取扱説明書を必ずお読みください。また、本書は大切に保管していただきますようお願い申し上げます。

また、弊社製品カタログには、ピスコ製品共通の取扱い上の注意事項が記載されています。本製品のご使用にあたっては、製品カタログの注意事項についても併せてご確認ください。

尚、内容は一般的な事柄について述べておりますので、記載の無いご使用方法につきましては、当社にご相談ください。

⚠ 安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、弊社製品を正しくお使いいただくための注意事項で、人体の危害と財産への損害を未然に防ぐためのものです。

IS0 4414、及びJISB8370と併せて必ず守ってください。

ISO 4414: Pneumatic fluid power ··· Recomendations for the application of equipment to transmission and control systems.

JIS B 8370: 空気圧システム

注意事項は、取扱いをあやまった場合に発生する危害や損害の程度により、「危険」、「警告」、「注意」に区分しています。

⚠ 危 険	明らかに危険な状態で、回避しないと死亡もしくは重傷を負う可能性があるもの
⚠ 警 告	使用状況により危険な状態で、回避しないと死亡もしくは重症を負う危険性があるもの
⚠ 注 意	使用状況により危険な状態で、回避しないと軽いもしくは中程度の負傷を負う可能性がある。また財産の損害、破壊の可能性があるもの。

※弊社製品は、一般産業機械用として設計製造されたものです。注意事項を必ず守ってください。

⚠危 険

1. 可燃性・爆発性のガスは絶対に吸引しないでください。また、可燃性・爆発性のガスなど引火の可能性のある雰囲気では絶対に使用しないでください。爆発・火災の原因になります。

⚠警 告

1. 排気側の配管を閉塞させて運転しないでください。過負荷によりモータが停止し、モータ焼損・やけど・火災の原因になります。
2. 分解・改造しないでください。異常動作し、ケガ・感電・火災の原因になります。
3. ロータリ真空ポンプに給油しないでください。
4. 回転部には、絶対に指や物で触れないでください。ケガ・破損の原因になります。
5. 吸気ポートに指や物を入れたりしないでください。ケガ・破損の原因になります。
6. 異音・異臭や煙が出ているなど異常な場合は、電源を切ってください。異常のまま運転を続けると感電・火災の原因になります。
7. ロータリ真空ポンプはモータ軸が水平となるよう設置してください。
8. 本製品は屋内仕様です。屋外で使用し雨風にさらされた場合は、モータの絶縁不良となり、感電・火災の原因になります。
9. ポンプ及びモータに直接水をかけたり、水などで洗浄しないでください。また、液体に触れる場所で使用しないでください。感電・火災・故障の原因になります。
10. 電気配線部に触れないでください。感電・火災の原因になります。
11. アース線を最寄のアース端子に接続してください。アースが不完全な場合、故障や漏電のときに感電することがあります。
12. モータへの配線は、製品に添付されるモータの取扱説明書に従って、サーマルプロテクタが動作するように配線してください。サーマルプロテクタが動作しない配線でのご使用は、火災の原因になります。
13. 電源ケーブルを傷つけたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、束ねたりしないでください。また、重いものをケーブルにのせたりしないでください。電源ケーブルが破損し、感電・火災の原因になります。
14. 専門業者、または専門技術者により漏電遮断機を設置してください。設置しないと、感電、火災の原因になります。

⚠注 意

1. モータ定格電源以外で運転しないでください。モータ定格電源以外で運転すると故障、事故の原因になります。
2. 加圧した気体を真空ポンプで吸引しないでください。破損の原因になります。
3. 水分・ゴミ・埃などを真空ポンプ内部に吸引した場合、破損の原因になります。
   （※1. 水分を多量に含んだ気体を吸込んだ場合は、吸気(IN)ポートを塞ぎ、しばらく運転してください。）
4. 衝撃を与えないでください。破損の原因になります。

仕　様

RPV06A-40□-□-□

中真空 30ℓタイプ

形　式			RPV06A-40T200	RPV06A-40S100
シリンダ連数			2連	
シリンダ配管方式			直列接続	
実効排気速度(ℓ／min)		50Hz	30.0	
		60Hz	36.0	
到達真空圧力 (Pa abs)		50Hz	≦350	
		60Hz	≦300	
最大吸込圧力			大気圧	
周囲環境温度(屋内)(℃)			5～40	
周囲環境湿度(屋内)			85%RH以下(結露なきこと)	
雰囲気(吸入気体)			腐蝕性及び爆発性ガスの無い雰囲気	
設置場所振動			4.9m／s²以下(10～60Hz)	
設置場所標高			海抜1,000m以下	
設置姿勢			モータ軸水平設置	
電動機	出　力(W)		40	
	種　別		3相モータ　サーマルプロテクタ内蔵 耐熱クラス130(B)	単相コンデンサ形インダクションモータ サーマルプロテクタ内蔵　耐熱クラス130(B)
	電　圧(V)		200	100
	定格電流(A)	50Hz	0.31	0.83
		60Hz	0.29	0.7
	定格回転速度(min⁻¹)	50Hz	1,350	1,250
		60Hz	1,625	1,600
	始動電流(A)	50Hz	0.9	1.7
		60Hz	0.82	1.5
運転音(dB(A))		50Hz	≦58	
		60Hz	≦63	
吸気ポート接続口径			G3／8	
排気ポート接続口径			G1／4	
寸法(全幅×奥行×全高)(mm)			125×284.6×166.5	
質　量(kg)			7.2	
冷却方式			強制空冷	

※1. 電源電圧の一時的な変動範囲は定格電圧±10%以内、変動が連続する場合の許容範囲は定格電圧±5%以内です。
※2. 運転音は集中配管により吸気音と排気音を除外した最大到達真空度での実測値であり、保証値ではありません。

RPV062-60□-□-□

低真空 60ℓタイプ

形　式		RPV062-60T200	RPV062-60S100
シリンダ連数		2連	
シリンダ配管方式		並列接続	
実効排気速度(ℓ／min)	50Hz	60.0	
	60Hz	72.0	
到達真空圧力 (Pa abs)	50Hz	≦3,500	
	60Hz	≦3,000	
最大吸込圧力		大気圧	
周囲環境温度(屋内)(℃)		5～40	
周囲環境湿度(屋内)		85%RH以下(結露なきこと)	
雰囲気(吸入気体)		腐蝕性及び爆発性ガスの無い雰囲気	
設置場所振動		4.9m／s²以下(10～60Hz)	
設置場所標高		海抜1,000m以下	
設置姿勢		モータ軸水平設置	
電動機 出　力(W)		60	
電動機 種　別		3相モータ　サーマルプロテクタ内蔵 耐熱クラス130(B)	単相コンデンサ形インダクションモータ サーマルプロテクタ内蔵　耐熱クラス130(B)
電動機 電　圧(V)		200	100
電動機 定格電流(A)	50Hz	0.45	1.3
	60Hz	0.41	1.2
電動機 定格回転速度(min⁻¹)	50Hz	1,350	1,250
	60Hz	1,625	1,575
電動機 始動電流(A)	50Hz	1.3	2.4
	60Hz	1.2	2.3
運転音(dB(A))	50Hz	≦58	
	60Hz	≦63	
吸気ポート接続口径		G1／2	
排気ポート接続口径		G3／8	
寸法(全幅×奥行×全高)(mm)		125×299.6×176	
質　量(kg)		7.5	
冷却方式		強制空冷	

※1. 電源電圧の一時的な変動範囲は定格電圧±10%以内、変動が連続する場合の許容範囲は定格電圧±5%以内です。
※2. 運転音は集中配管により吸気音と排気音を除外した最大到達真空度での実測値であり、保証値ではありません。

RPV063-90T200-□-□

低真空 90ℓタイプ

形　式		RPV063-90T200
シリンダ連数		3連
シリンダ配管方式		並列接続
実効排気速度(ℓ／min)	50Hz	90.0
	60Hz	108.0
到達真空圧力 (Pa abs)	50Hz	≦3,500
	60Hz	≦3,000
最大吸込圧力		大気圧
周囲環境温度(屋内)(℃)		5～40
周囲環境湿度(屋内)		85%RH以下(結露なきこと)
雰囲気(吸入気体)		腐蝕性及び爆発性ガスの無い雰囲気
設置場所振動		4.9m／s²以下(10～60Hz)
設置場所標高		海抜1,000m以下
設置姿勢		モータ軸水平設置
電動機 出　力(W)		90
電動機 種　別		3相モータ　サーマルプロテクタ内蔵　耐熱クラス130(B)
電動機 電　圧(V)		200
電動機 定格電流(A)	50Hz	0.62
	60Hz	0.56
電動機 定格回転速度(min⁻¹)	50Hz	1,350
	60Hz	1,625
電動機 始動電流(A)	50Hz	2.0
	60Hz	1.8
運転音(dB(A))	50Hz	≦58
	60Hz	≦63
吸気ポート接続口径		G1／2
排気ポート接続口径		G3／8
寸法(全幅×奥行×全高)(mm)		125×340.6×181
質　量(kg)		9.0
冷却方式		強制空冷

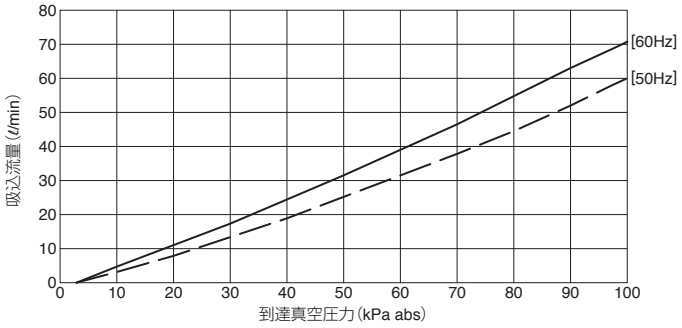
※1. 電源電圧の一時的な変動範囲は定格電圧±10%以内、変動が連続する場合の許容範囲は定格電圧±5%以内です。

※2. 運転音は集中配管により吸気音と排気音を除外した最大到達真空度での実測値であり、保証値ではありません。

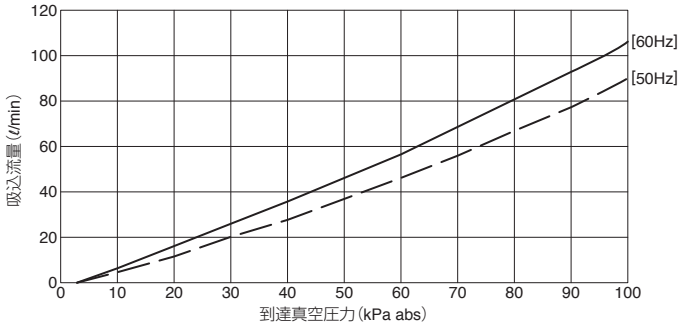
ポンプ性能特性

■流量特性

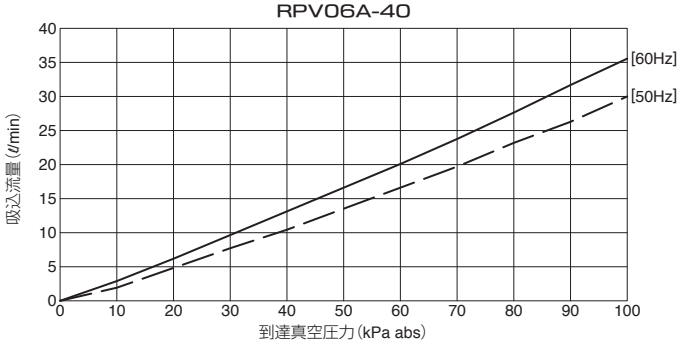
RPV062-60



RPV063-90

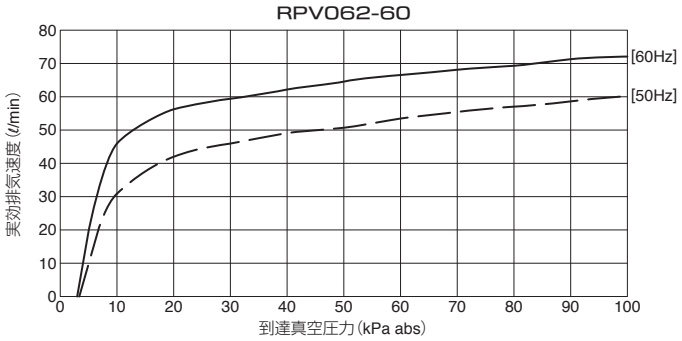


RPV06A-40

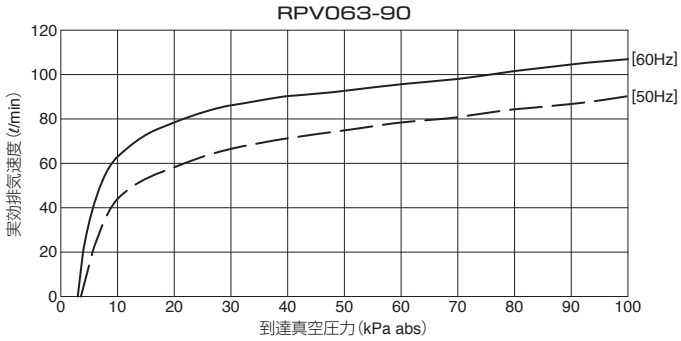


■排気速度特性

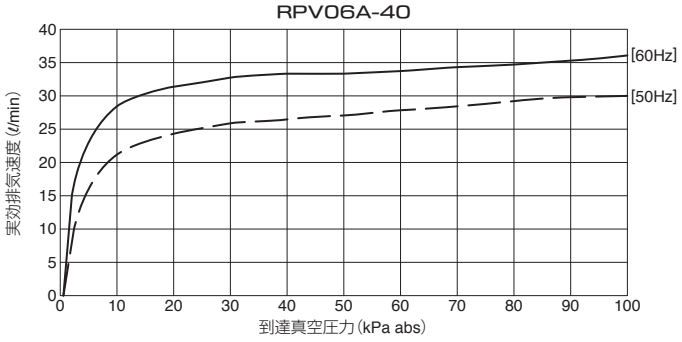
RPV062-60



RPV063-90



RPV06A-40



CEマーキング宣言書

EC Declaration of Conformity

According to EC Machinery Directive 2006/42/EC

We herewith declare,
Name: NIHON PISCO CO., Ltd
Address: 4088 MINAMIMINOWA, KAMIINA, NAGANO-PREF., 399-4587 JAPAN

that the following described machine in our delivered version complies with the appropriate basic safety and health requirement of the EC Machinery Directive 2006/42/EC based on its design and type, as brought into circulation by us. In case of alteration of the machine, not agreed upon by us, this declaration will lost its validity

Description of the machine: VACUUM PUMP
Machine type: RPV06A-40, RPV062-60, RPV063-90

Applicable EC Directive:	**EC Machinery Directive(2006/42/EC)**
Applicable Harmonized Standards:	***EN ISO 12100-1/A1:2009***
	EN ISO 12100-2/A1:2009
	EN ISO 14121-1:2007
	EN 1012-2:1996+A1:2009
	EN 60034-1:2004
	EN 60204-1/A1:2009

The measurements show in this test report may issue a DECLARATION of CONFORMITY and apply the *CE Mark* in accordance to *European Union Rules*.

F. Kitahara April 3. 2012

President/sign Date

Tested by KTR KOREA TESTING & RESEARCH INSTITUTE
IEC National Certification Body

各部の名称(ポンプ概要)

部品名末尾の●印は、点検交換部品(点検時の消耗状態に応じて交換する部品)を示します。(P.17参照ください。)

ポンプ概要図(例：RPV062-60)

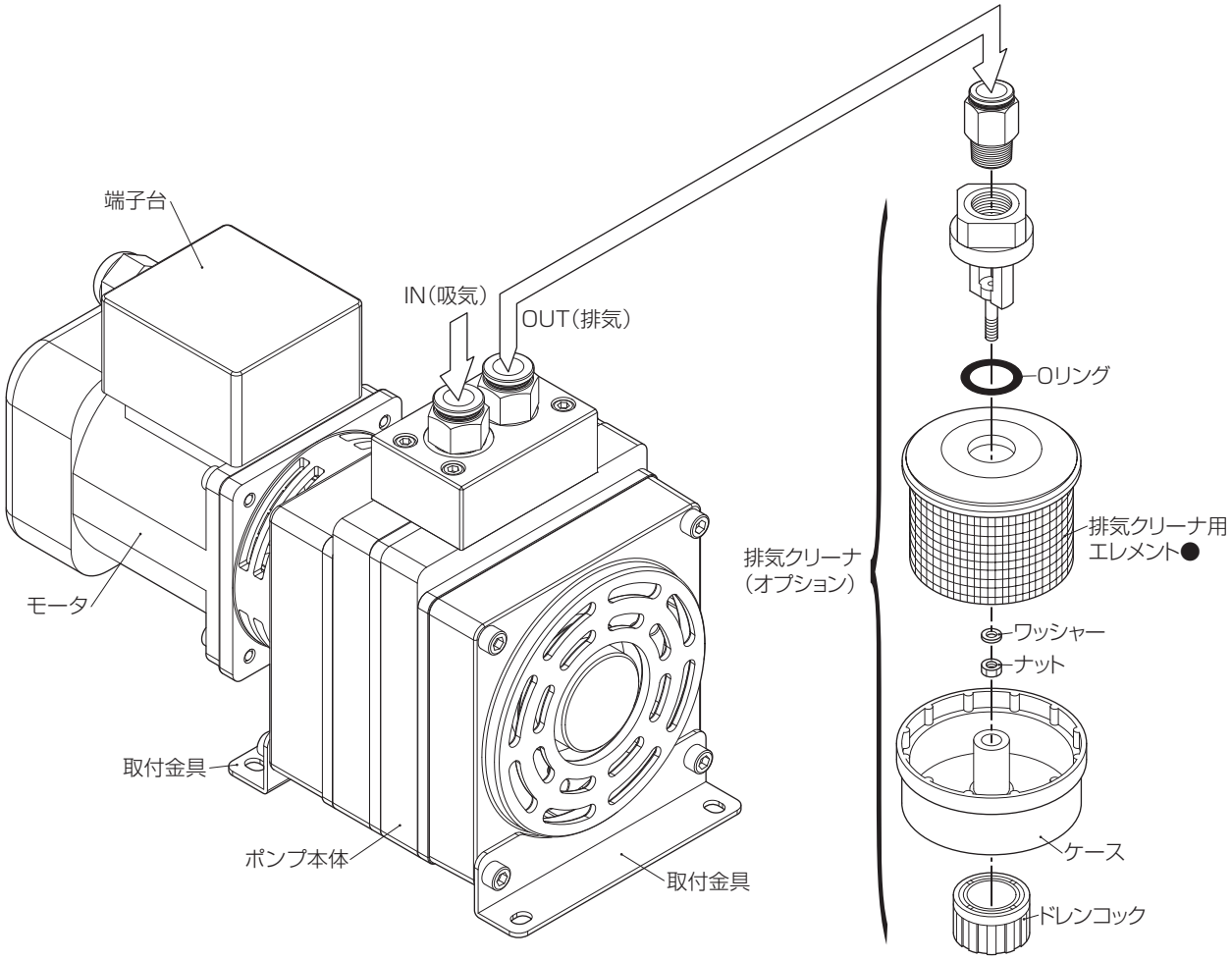


図1：ポンプ及び接続の概要

設置前の確認(開梱時の確認)

注 意

1. 製品の輸送、出荷、その他により製品に異常が発生することがあります。お手元に届いた製品に変形や傷等の異常がないかお確かめください。万一異常を発見された場合には、お買い上げいただいた販売店までお問い合せください。
2. ご購入された製品に間違いがないか、製品の製造銘板をご確認ください。
3. 付属品付きの製品は、付属品の有無をお確かめください。
4. 製品は重量物ですので、運搬には十分に注意してください。

設置方法（運転前の準備）

警告

1. 引火の危険性がない場所に設置してください。
2. 薬品、ガスなど本ポンプに腐食等の影響を与えるものがない場所に設置してください。
3. ポンプ設置は、専門業者に依頼または専門技術者が行なってください。設置に不備があると、振動、感電、火災の原因になります。
4. 充分な強度がある面に設置してください。
5. ポンプは、平らな面へモータ回転軸が水平となるよう設置してください。
6. 埃や湿気が少ない場所に設置してください。
7. ポンプの許容周囲温度は5～40℃です。周囲に熱源等がある場合は、40℃を超えないよう、十分に注意してください。
8. 密閉された空間での使用は、ポンプの発熱により故障の原因になります。ポンプ周囲は十分な換気を行ない、許容周囲温度を超えないようにご注意願います。

注意

■設置方法

ポンプの取付金具を利用してボルト締結固定の際は、M6ボルトを使用してください。

配管（運転前の準備）

注意

1. ゴミ・埃がポンプ内部に入らないよう、吸気ポート側に必ず濾過精度10μm以下のフィルタを接続してください。
2. 吸気側の配管内にはゴミ・ドレン等無いことを確認の上接続してください。異物がポンプへ入ることにより、ポンプに損傷を与えたり、場合により破損することもあります。
3. 継手のネジを締める際、表１の推奨締付けトルクを参考に締付けてください。推奨締付けトルク以上で締付けた場合、ネジ部の折れやガスケットの変形による漏れの原因となる可能性があります。推奨締付けトルク以下で締付けた場合、ネジ部の緩みや漏れの原因となる可能性があります。
4. ポンプからのエアの配管は、継手及びチューブの口径を極力大きくしてください。接続口径を小さくしすぎると、ポンプの効率を低下させる可能性があります。
5. 排気口には圧力負荷がかからないように配管してください。
6. 排気口側を集中排気配管する場合、排気配管内で発生した結露水がポンプに浸入しないように排気配管の状態に応じて、配管途中にドレン抜きを設けてください。管内結露水がポンプ内部に侵入すると、故障の原因となります。
7. 排気クリーナのケースに溜まったドレンは、エレメントに達する前にドレンコックを開いて排出してください。
8. 排気クリーナの目詰まりによる排気側の圧力抵抗が認められたら、排気クリーナのエレメント組立を交換してください。

■配管手順

①. ポンプの“IN”及び“OUT”表示のポートを封止しているシールを取り外してください。ポート付近の“IN”表示が吸気ポート、“OUT”表示が排気ポートを示しています。

②.「IN」表示のポートに吸気側の配管をしてください。また、極力短いチューブを使用して、漏れが生じないよう接続してください。

③.「OUT」表示のポートに排気側のチューブを配管してください。

④. 排気ポート側にオプションパーツの排気クリーナを使用する場合はポンプから排気側に接続されたチューブ端へ接続してください。また、ドレンコックが下側となるよう垂直に設置してください。

表１　推奨締付けトルク

ネジサイズ	推奨締付けトルク
G1／4	12 ～ 14N·m
G3／8	22 ～ 24N·m
G1／2	28 ～ 30N·m
R1／2	28 ～ 30N·m

※ポンプの吸気ポート及び排気ポートに接続する継手は、Gネジ（管用平行ネジ）、排気クリーナに接続する継手のみPTネジ（管用テーパネジ（R1／2））となります。
ネジの種類をご確認の上、継手の締付けを行ってください。
謝って異なるネジ種類を締付けますと、ネジ部が損傷し、漏れの原因になります。

配線(運転前の準備)

警 告

1. 専門業者または専門技術者により漏電遮断器を設置してください。設置しないと、感電・火災の原因になります。
2. 配線は添付「モータ取扱説明書」に従って、ご使用になる電源仕様に合わせて正確に行ってください。
   (モータ回転方向は、CCW(反時計方向)となるよう配線してください。また、モータ内蔵のサーマルプロテクタを確実に接続してください。)
3. モータ定格に合致した電源に配線してください。
4. モータに合致したモータブレーカを取り付けてください。(設置は専門の業者、または専門の技術者に依頼してください。)
5. アースは必ず接地してください。
6. 電源コードはモータ銘板の電流値を参考にして選定してください。
7. モータの回転方向は、ポンプ側から見て反時計方向になります。(図2参照)
8. ポンプが回転しない・逆回転するなどの不具合が生じた場合は、再度配線が間違っていないか確認してください。(図3参照)

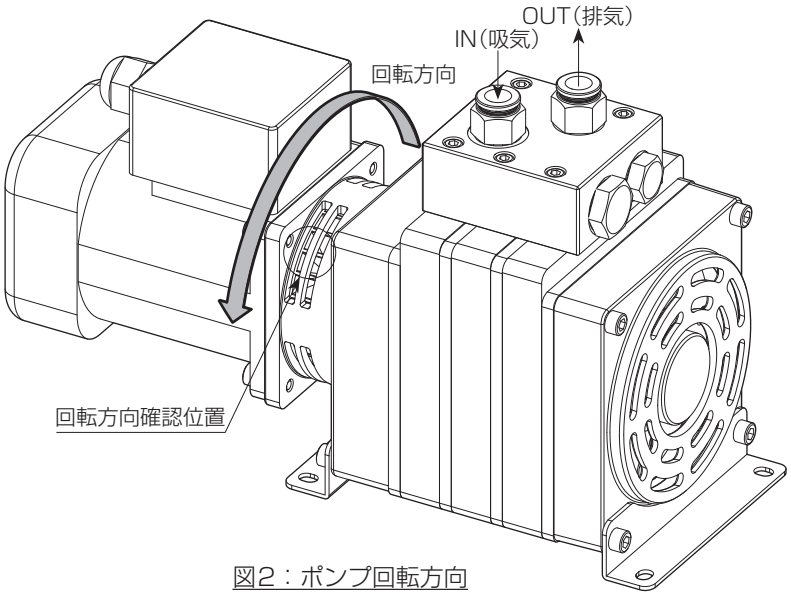
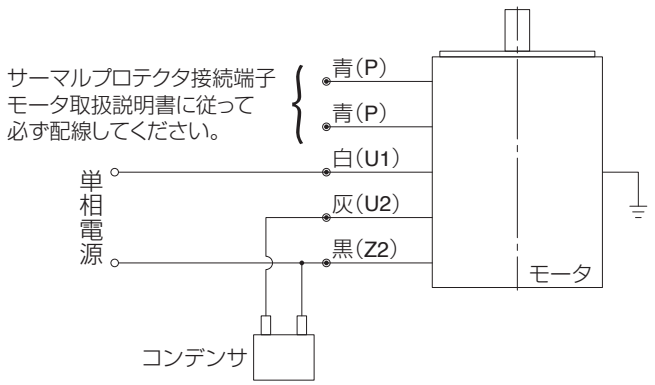


図2:ポンプ回転方向

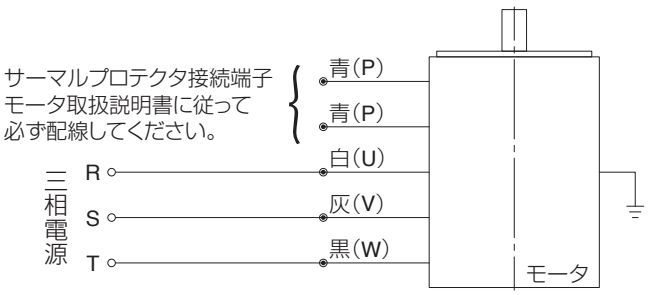
警 告

モータを寸動し、上図の回転方向確認位置より内部回転部品の回転方向を確認してください。

■単相モータ配線図



■三相モータ配線図



※U, V, Wの内、いずれか2線を入れ替えますと逆回転します。

図3:モータ配線図(参考)

運　転

警 告

1. 本ポンプは真空引き専用ですので、背圧がかからないようにしてください。
2. 本ポンプは防爆構造ではありません。引火性の溶媒の近くでは非常に危険ですので使用しないでください。
3. 雰囲気温度は、5～40℃の範囲内でご使用ください。
4. ロータは特別な樹脂から出来ていて、給油の必要はありません。どのような使用条件下でもオイルまたはグリースを給油しないでください。
5. 腐食性のガス、有機溶剤、液体、凝縮性ガス、水蒸気などは吸引しないでください。
6. ポンプの吸気及び排気側の配管は、液体がポンプ内に入らないように設置してください。
7. ゴミ、埃などが入らない環境でご使用ください。
8. 排気側を閉塞状態での運転はしないでください。モータ過負荷となり起動しないことがあります。
9. 排気側に圧力負荷が生じないよう配管してください。異常な発熱となりモータ焼損の恐れがあります。

■運転前の確認

警 告

1. 電源を入れモータを寸動にて回転方向をチェックし、吸引していることを確認してください。

■運転方法

①. 電源を入れる。

警 告

1. 回転部を絶対手や物で触れないでください。

■停止方法

①. 電源を切り、ポンプを停止してください。

保　守

警告
1. 清掃・整備・点検の時は必ず元電源を切り、元電源スイッチに「清掃・整備・点検作業中」を表示してください。表示しないと感電およびケガの原因になります。

注意
1. 排気クリーナのケース材質はポリカーボネートです。表2に記載されている化学薬品の雰囲気、または付着する場所での使用は避けてください。
2. 清掃・点検時は、保護具を着用してください。着用しないとケガの原因になります。
3. 運搬時は滑り止め付きの手袋、安全靴を着用してください。着用しないと、ケガの原因になります。

■点検内容

配管系統にエア漏れ、詰まり、締め付けのゆるみ等の異常がないか点検してください。

表2　化学薬品名

化学薬品の種類	化学薬品の分類	化学薬品の主な製品	化学薬品の分類
無機化合物	酸	塩酸・硫酸・硝酸・フッ酸・リン酸・クロム酸など	金属の酸洗い液・酸性脱脂液・皮膜処理液など
	アルカリ	カ性ソーダ・カ性カリ・消石炭・アンモニア水・炭酸ソーダなどアルカリ物質	金属のアルカリ性脱脂液
有機化合物	無機塩	硫化ソーダ・硝酸カリ・重クロム酸カリ・硝酸ソーダなど	
	芳香族炭化水素	ベンゼン・トルエン・キシレン・エチルベンゼン・スチレンなど	塗料のシンナーに含有（ベンゼン・トルエン・キシレン）
	塩素化脂肪族炭化水素	塩化メチル・塩化エチレン・塩化メチレン・塩化アセチレン・クロロホルム・トリクレン・バークレン・四塩化炭素など	金属の有機溶剤系の洗浄液（トリクレン・バークレン・四塩化炭素など）
	塩素化芳香族炭化水素	クロルベンゼン・ジクロルベンゼン・六塩化ベンゼン(B・H・C)など	農薬
	石油成分	ソルベント・ナフサ・ガソリン	
	アルコール	メチルアルコール・エチルアルコール・シクロヘキサノール・ベンジンアルコール	凍結防止剤として使用
	フェノール	石炭酸・クレゾール・ナフトールなど	消毒液
	エーテル	メチルエーテル・メチルエチルエーテル・エチルエーテル	ブレーキ油の添加剤
	ケトン	アセトン・メチルエチルケトン・シクロヘキサノン・アセトフェノンなど	
	カルボン酸	ギ酸・酢酸・ブチル酸・アクリル酸・シュウ酸・フタル酸など	染色剤・シュウ酸はアルミの処理剤、フタル酸は塗料の基剤として使用
	リン酸エステル	フタル酸ジメチル(DMP)、フタル酸ジエチル(DEP)、フタル酸ジブチル(DBP)、フタル酸ジオクチル(DOP)	潤滑油・合成作動油・防錆油・の添加剤 合成樹脂の可塑剤として使用
	オキシ酸	グリコール酸・乳酸・リンゴ酸・クエン酸・酒石灰	
	ニトロ化合物	ニトロメタン・ニトロエタン・ニトロエチレン・ニトロベンゼンなど	
	アミン	メチルアミン・ジメチルアミン・エチルアミン・アニリン・アセトアニリンなど	ブレーキ油の添加剤
	ニトリル	アセトニトリル・アクリロニトリル・ベンズニトリル・アセトイリニトリルなど	ニトリルゴムの原料

故障・異常の見分け方と対処方法

警告

1. 清掃・整備・点検の時は必ず元電源を切り、元電源スイッチに「清掃・整備・点検作業中」を表示してください。感電およびケガの原因になります。
   ※整備・点検は専門の業者または専門の技術者に依頼してください。

注意

1. 清掃・点検時は保護具を着用してください。着用しないとケガの原因になります。
2. 運搬時は滑り止め付の手袋、安全靴を着用してください。着用しないとケガの原因になります。

表３　トラブル時の対処

現　象	原　因	処　置
ポンプ起動不良または、回転数の低下	電源の故障	補修依頼
	電圧降下	電源電圧の調整・電源ケーブルの検討
	コードの断線	交換・修理
	ブレーカの作動	作動原因の調査
	低温雰囲気	5～40°Cの範囲で運転
	排気口側が閉塞または圧力が上がり過ぎ	排気側抵抗の原因調査 排気側圧力の正常化
異常音の発生	ポンプの破損	※交換
	モータの破損	※交換
ポンプ性能の低下	ポンプの破損・消耗	※交換
	エアフィルタの詰まり	清掃、交換
	電圧降下	電圧調整、電源回路の強化
	雰囲気温度	5～40°Cの範囲で運転
	配管及び接続部でのロス	配管の漏れ、径、長さを調査し修理
ポンプ回転停止	異物混入によりポンプ破損	販売店またはサービスマンにご相談ください。
	異常発熱でサーマルプロテクタ作動	
	電気系統の不良	

※ポンプ本体またはモータの交換・修理は販売店またはサービスマンにご相談ください。

交換部品

■**点検交換部品**（点検時の消耗状態に応じて交換する部品）

表4　点検交換部品

部品名	型　式	RPV06A-40	RPV062-60	RPV063-90
排気クリーナ用エレメント	品　番	RPVFE-04		
	個数／台	1		
	点検時期	1週間毎		
	交換判定基準	エレメント目詰まりによる排気側の圧力抵抗が生じた場合		

保管方法

■**保管方法**

①. ポンプを購入してから使用するまで期間があったり、使用していたポンプを都合で長期間使用しない場合には、錆びの発生に注意して保管してください。
②. 吸気ポート及び排気ポートから異物が入らないように塞いでください。

■**保管場所**

下記の条件を満たす場所に保管してください。
①. 埃及び湿気の少ない所。
②. 室内に保管し、ポンプに適当なカバーをかける。
③. 乾燥した清潔な場所に保管する。
④. 通風の良い場所（周囲温度5～40℃以下）に保管する。水、油のかからない場所に保管する。
⑤. 塩素、亜硫酸ガス、その他ポンプに錆を発生させる有害ガス及び高温度に特に注意し保管する。

廃棄方法

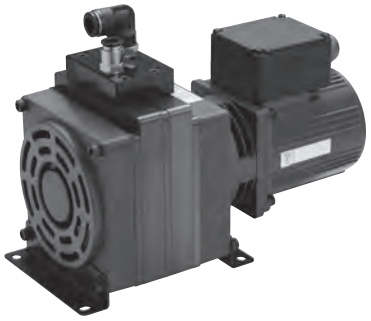
注 意

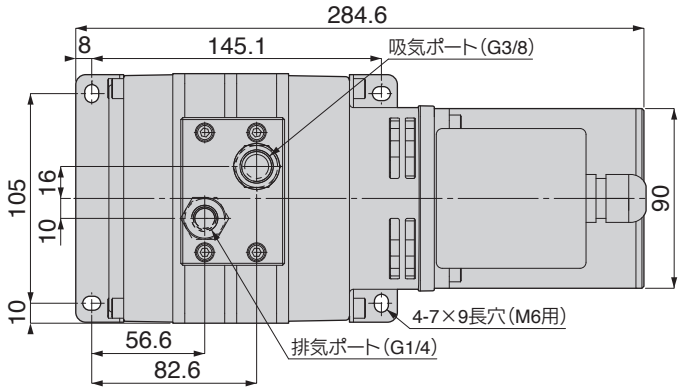
処分方法は法令で義務付けられています。法令に従い、適正に処理してください。

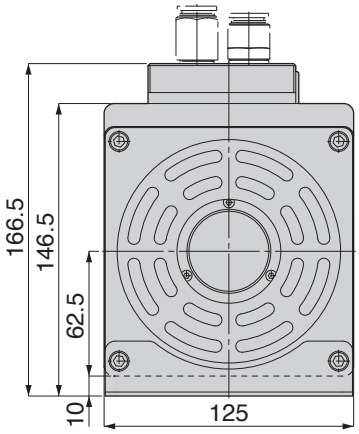
製品を廃棄するときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に準拠し、必ず専門の産業廃棄物処理業者に委託して処理してください。

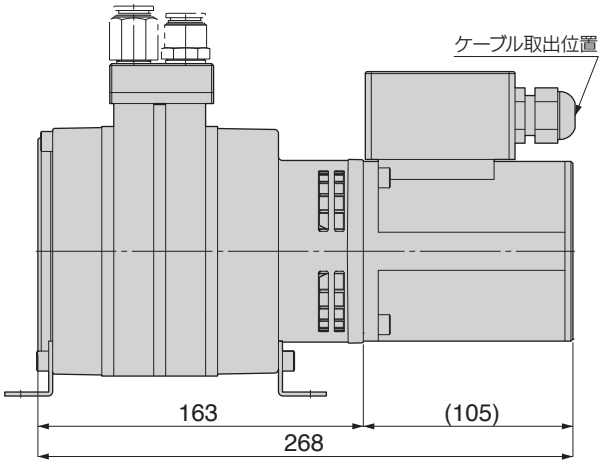
外観寸法図

・RPV06A-40□-④-⑤　　中真空 30ℓタイプ

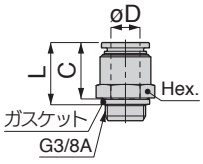








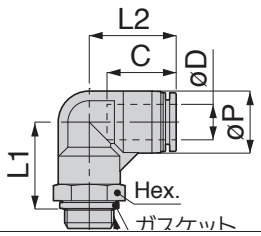
■オプション部品外観図



単位：mm

形 式 ④	適用チューブ外径 øD	C	L	対辺 Hex.
10	10	20.7	19.6	19
12	12	23.3	25.7	21
16	16	24.8	31.5	22

ストレート

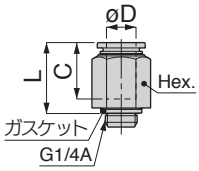


単位：mm

形 式 ④	適用チューブ外径 øD	C	L1	L2	øP	対辺 Hex.
20	10	20.2	27.4	26.2	17.5	19
22	12	23.4	29.4	29.4	21	21
26	16	24.1	38.4	33.1	25	24

エルボ

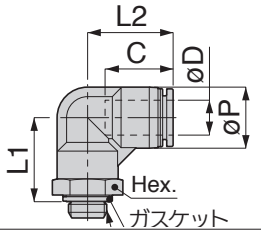
RPV06A-40　吸気ポート用ワンタッチ継手形状



単位：mm

形 式 ⑤	適用チューブ外径 øD	C	L	対辺 Hex.
30	10	20.7	24.1	17
32	12	23.3	29.3	21

ストレート



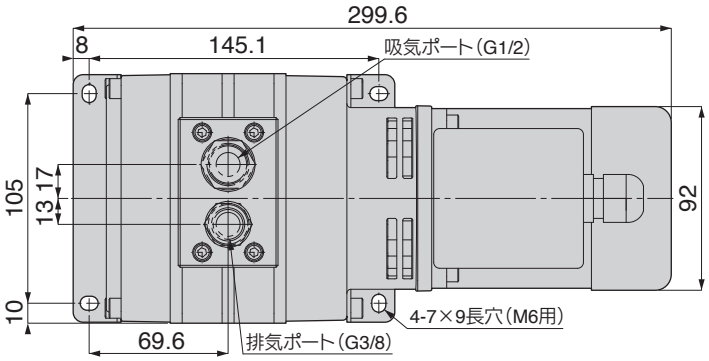
単位：mm

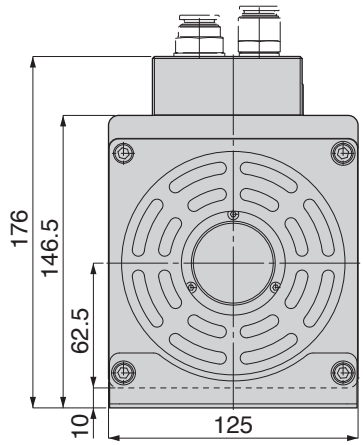
形 式 ⑤	適用チューブ外径 øD	C	L1	L2	øP	対辺 Hex.
40	10	20.2	26.9	26.2	17.5	17
42	12	23.4	28.9	29.4	21	21

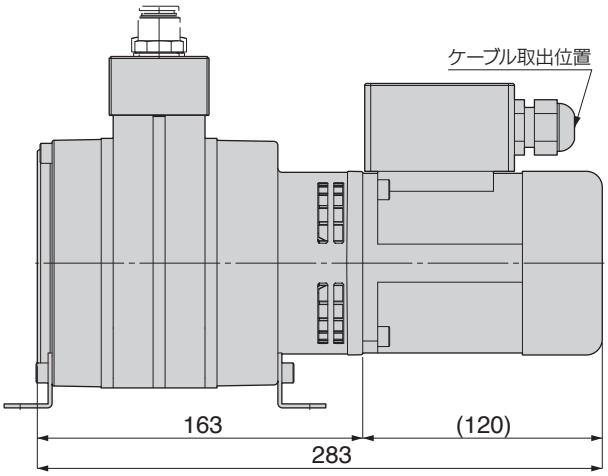
エルボ

RPV06A-40　排気ポート用ワンタッチ継手形状

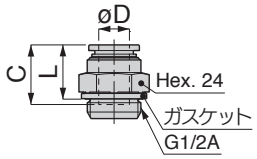
・RPV062-60□-④-⑤　　低真空 60ℓタイプ







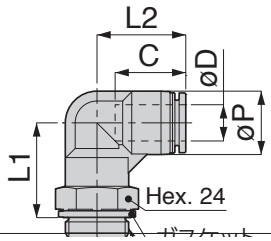
■オプション部品外観図



単位：mm

形 式 ④	適用チューブ外径 øD	C	L
10	10	20.7	19.2
12	12	23.3	21.2
16	16	24.8	28.5

ストレート

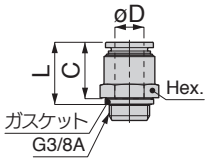


単位：mm

形 式 ④	適用チューブ外径 øD	C	L1	L2	øP
20	10	20.2	29.4	26.2	17.5
22	12	23.4	31.4	29.4	21
26	16	24.1	38.4	33.1	25

エルボ

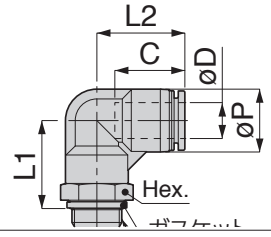
RPV062-60&RPV063-90　吸気ポート用ワンタッチ継手形状



単位：mm

形 式 ⑤	適用チューブ外径 øD	C	L	対辺 Hex.
30	10	20.7	19.6	19
32	12	23.3	25.7	21
36	16	24.8	31.5	22

ストレート



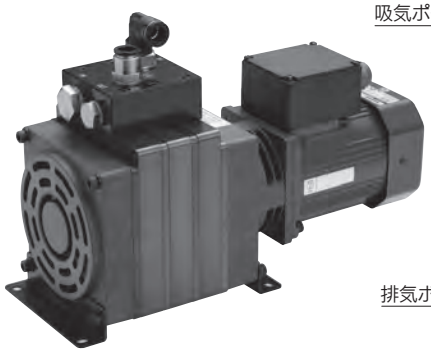
単位：mm

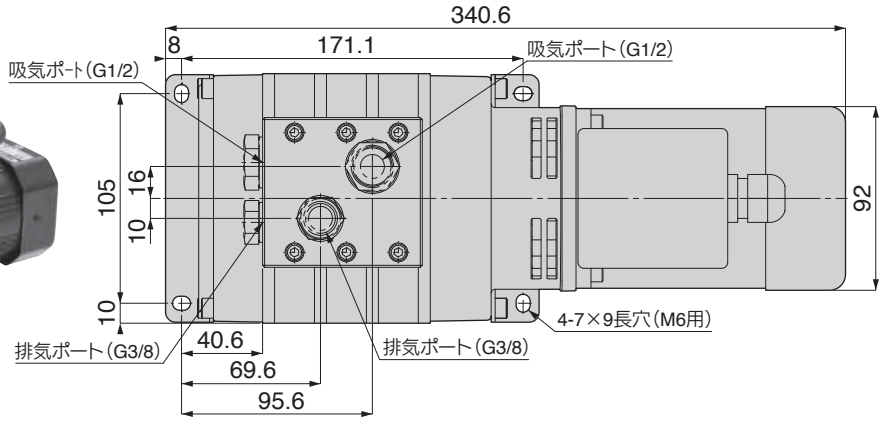
形 式 ⑤	適用チューブ外径 øD	C	L1	L2	øP	対辺 Hex.
40	10	20.2	27.4	26.2	17.5	19
42	12	23.4	29.4	29.4	21	21
46	16	24.1	38.4	33.1	25	24

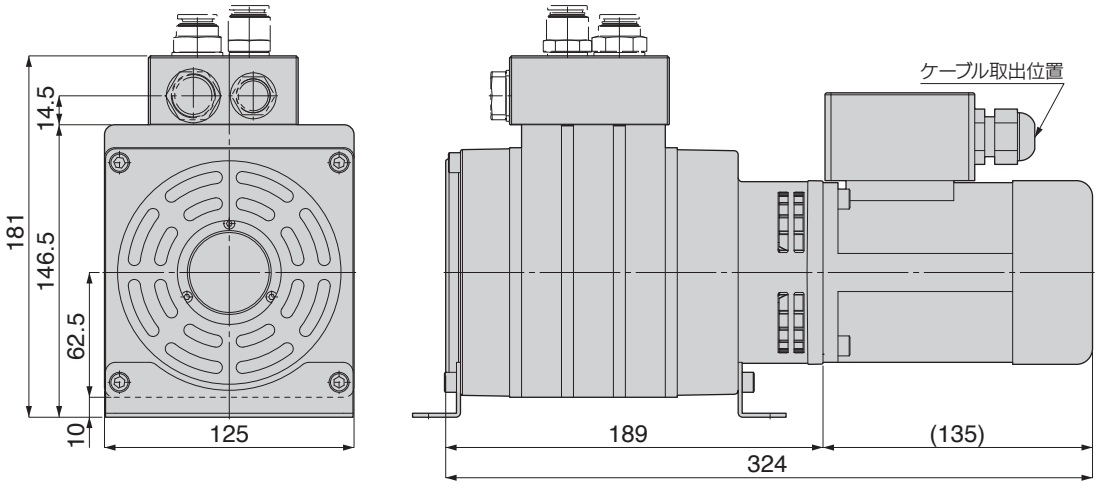
エルボ

RPV062-60&RPV063-90　排気ポート用ワンタッチ継手形状

・RPV063-90-T200-4-5　　低真空 90ℓタイプ



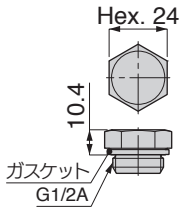




※RPV063-90は、吸気・排気ポートが各2カ所あります。片側の吸気・排気ポートを塞ぐように止栓が同梱包されています。

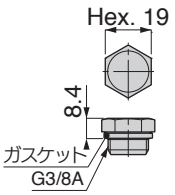
■付属部品外観図

単位：mm



RPV063-90　吸気ポート用止栓形状

単位：mm



RPV063-90　排気ポート用止栓形状

■オプション部品外観図

※オプション部品外観図につきましては、左ページを参照ください。

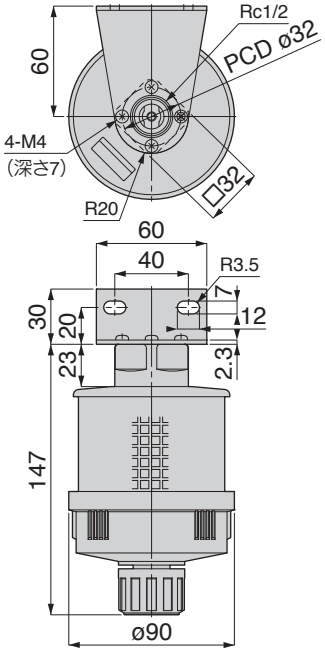
オプション部品外観図

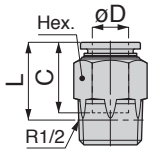
・RPVF-04

排気クリーナ

単位：mm

濾過度：1μm

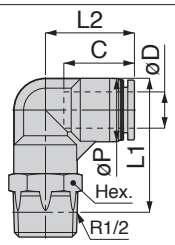




単位：mm

適用チューブ外径 øD	C	L
10	20.7	22.1
12	23.3	25.7
16	24.8	33.1

ストレート



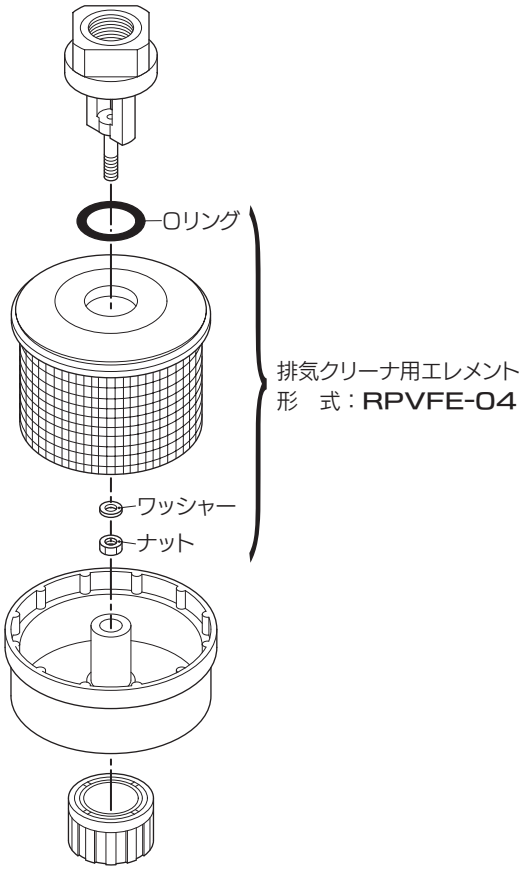
単位：mm

適用チューブ外径 øD	C	L1	L2	øP
10	20.2	40.6	26.2	17.5
12	23.4	44.3	29.4	21
16	24.1	55.3	33.1	25

エルボ

排気クリーナ用ワンタッチ継手形状

■点検交換部品



保　証

本機は株式会社日本ピスコが責任を持って厳密なる品質管理を行ない、これに合格したものです。

従って、万一保証期間内に当社の明らかな責任によって故障が発生した場合は、下記により無償で修理させて頂きます。

但し、免責事項については実費ご負担をお願い致します。（代替部品輸送料及びサービスマン移動費用等を含みます。）

■保証期間

本製品の保証期間は、貴社ご指定場所に納入後１年間と致します。

但し、消耗部品等については上記保証の適用範囲外とします。

■保証内容

保証期間中に当社の責任により本製品が故障を生じた場合次のいずれかの対応を速やかに実施させて頂きます。

①. 製品代替品の無償提供

②. 本製品を弊社工場にて無償修理

■免責事項

故障の原因が次の項目に該当する場合は、前記保証の適用範囲から除外させていただきます。

①. 天災、当社の責任以外の火災、第３者による行為、お客様の故意または過失等による場合。

②. 本取扱説明書に記載された仕様の範囲を超えて使用された場合、及び記載された以外の方法で使用された場合。

③. 製品の改造によるもの、及び当社が関わっていない構造、性能、仕様の改変による場合。

④. 納入当時に分かっていた評価項目、対策方法では予見できない事由に起因する場合。

⑤. 本製品を貴社の機械・機器に組み込んで使用される際、貴社の機械・機器が通念上備えられている機能、構造を持っていれば回避できた事に起因する場合。

尚、前記保証は本製品単体での保証を意味するもので、本製品の故障により誘発される損害の賠償はご容赦ください。

日本国外に輸出された本製品が、前記保証期間中に当社の責任により故障を生じた場合、本製品代替品を、日本国内の貴社ご指定場所へ無償提供させていただきます。

アフターサービス

■アフターサービスについて

①. 保証期間中でも有償修理となる場合があります。保証に関して詳述したP.19をよくお読みください。
②. 保証期間経過後は有償修理となります。修理箇所及び修理内容や経過年数によっては新規購入をお奨めする場合がありますので、販売店にご相談ください。

■点検・修理を依頼される前に

①.「故障・異常の見分けかたと対処方法」(P.13参照)に従い確認、処置をしてください。
②. その上で改善しない場合、またはご不明な点がある場合は、ご自身で修理なさらずに、お買い上げの販売店にご連絡願います。

■アフターサービスの依頼

修理をお申し付けのときは、次の事項を、お買い上げの販売店にお知らせください。
①. 型式名
②. 製造Lot番号
③. 現象(できるだけ詳しく)

ご使用になる前に下表に必要事項をご記入ください。
修理・サービスの際の必要情報となります。

製造Lot番号	
購入先	
購入年月日	年　月　日
使用開始日	年　月　日

※製造Lot番号は、ポンプ銘板に記載されています。